



国際ロータリー
第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

御殿場
ロータリークラブ

週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2789回 例会プログラム

- 例会場 / YMCA東山荘記念館
- 開会点鐘 / 12:30
- 国歌斉唱
- ロータリーソング / 四つのテスト
- 内容 / クラブ創立記念日
「周年事業に因んで」 豊山徹也君

会員慶事

● 会員誕生日 6月11日 勝又 厚君

- 夫人誕生日 6月7日 井上 元君 ご夫人 浩子様
- 6月11日 菅沼良将君 ご夫人 亜沙美様
- 皆出席 5月30日 石川又英君(ロータリー歴31年)
- 6月1日 勝又安彦君(ロータリー歴19年)
- 6月1日 山内 剛君(ロータリー歴19年)
- 6月1日 嶋田康一君(ロータリー歴2年)
- 6月1日 柏原大地君(ロータリー歴2年)

会長挨拶

澁谷 一



本日は、込山正秀小山町長に卓話にお越しいただきました。公務でご多忙の中、私がしつこく誘ったからか、予定を空けていただきました。今期は御殿場・小山両市町の行政と教育界のトップ4名においていただきました。近年のめざましく発展していくこの北駿地域が今後どのようにしていくのかを御殿場ロータリーメンバーも是非勉強したいと思います。

今期はあと4回を残すところですが、林準君より今期末での退会届ができました。皆様には知らせるのは、もう少し後でよいかなと思いましたが、本人のご体調の関係もあり、本日最後になりますので、後ほど退会の挨拶をしていただきます。私は、林君には公私に亘り大変お世話になりました。ロータリークラブへ入会してからは、林君が親睦委員長の時、裾野の十里木で親睦委員会バーベキューをしたこと、私が親睦の副委員長時は、箱根湯本の高級旅館「初花」での一泊例会と



退会挨拶 林 準君

その前後にも行き、現地で打ち合わせをした思い出や、宴席の2次会では創業者として苦労した経験を私たちに熱く話されたことなど、本当に長い間、私たちを指導していただき、ありがとうございました。

また、本日の岳麓新聞に、山内君、秋田君の両名の各団体の総会写真がありましたので持参しました。両名共に、御殿場市観光協会、小山町商工会のリーダーとしてロータリアンの職業奉仕を公の場で実践していて誇らしく思います。他に仕事もあると思いますので、体調に気をつけながらの活躍を期待しています。また、岳麓新聞には、市長、町長の動きが掲載されています。本日も小山町長の予定に御殿場ロータリークラブ例会がありました。いつも見っていますが、首長も多忙でいらっやいます。どうかご自愛ください。

皆様もこの時期、各団体や地域で総会が行われると思います。私も各団体の役員、会計監査を多く行っていますが、御殿場クラブも今期終了前の6月中旬に会計監査を予定しています。池谷会計にはご苦勞をかけますが、各委員会も積極的に協力してほしいと思います。



会長挨拶は
こちら



THE MAGIC OF ROTARY
ロータリーのマジック

次回
6月12日の
例会

★かめや恵庵
★18:00
★移動例会 親睦活動委員会



富士のふもとに 三来～みらい～拠点 3つの未来がはじまるまち

小山町長
●●●●●●●●●●
込山正秀様

今日は、三来～みらい～拠点としての小山町の現状と将来像についてお話をさせていただきます。

はじめに、小山町の基本データについてですが、令和7年5月1日現在の最新のデータでは人口は16,730人、世帯数は7,397世帯となっています。世の中の推移と同じく、人口は減少してきていますが、神奈川県・山梨県と接しており、富士・箱根の観光資源に囲まれた静岡県東の玄関口にもなっている小山町には未来の可能性があると考えています。

2027年度には新東名が開通し、富士スピードウェイの付近にパーキングエリアが誕生する予定となっておりますが、そこから5分ほどのところには湯船原産業拠点エリアを開発中です。この湯船原地区は、実に300haもの広大な土地となっており、「富士山麓フロンティアパーク小山」「新産業集積エリア」「上野工業団地」「林業エリア」「アグリーンドアストリーエリア」といった区画に分けての開発が進行中です。

富士山麓フロンティアパーク小山では既に10社が操業しており、新産業集積エリアについても、ノルウェーの会社である、プロキシマーという会社がアトランティックサーモンの養殖を行っているなど、既に3社が操業を開始している状況です。上野工業団地については2023年7月に造成工事が完成していますが、そばを走る国道246号視距改良事業を現在国土交通省に実施いただいています。また、林業エリアでは持続可能な地域循環型林業

を既に構築しています。

そして何より大切なのは、こうした湯船原工業団地事業を進める中で、どれだけの税収効果が生まれているのか、ということですが、令和元年度は7,500万円ほどだった工業団地の税収は令和6年度には約6億円まで膨れ上がっており、累計税収額としては16億円を越えております。そして上野工業団地が動き始めれば、倍ぐらいの税収を見込むことができると期待しています。

その他にも新東名の近くには富士モータースポーツフォレスト、足柄SA周辺には複合観光施設開発を進めているなど、明るい将来、未来を描くことができる材料が山のようにございます。

こうした各取組によって、少し古いデータにはなってしまいますが、「令和2年度しずおかけんの地域経済計算」によると、小山町の経済成長率は7.9%で県下1位、1人当たり市町民所得も381万9千円で県下1位となっております。直近では御殿場に抜かれているかもしれませんが、この機会に小山町も御殿場に負けないくらい頑張っていることを知っていただくと幸いです。



**5/29の
出席報告**

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
53名	50名	47名	94%	100%

**欠席者
(3名)**

梶 喜朗君 高橋隆造君
田代明人君
※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



司会
柏原大地君



出席報告
瀬戸正人君



ソングリーダー
菅沼良将君

5/15のメーキャップ

5月13日	北海道Eクラブ	根上眞一君
5月14日	北海道Eクラブ	勝間田太住君
5月15日	北海道Eクラブ	神谷高義君
5月19日	北海道Eクラブ	勝又博文君